

施設概要

東北学院大学博物館は、本学土樋キャンパスに隣接し、仙台中心部の愛宕上杉通りに面して建つ大学博物館である。当館は、本学の教育、研究成果に関わる学術的価値を有する資料を収集整理、保管、公開、普及し、本学の活動を社会的に伝えることを目的としている。また、大学博物館における博物館学芸員資格課程の実習施設としての役割を担い、実物資料を用いた学習機会を提供する。

建築は鉄骨平屋建で、建物面積は約300㎡である。展示室面積180㎡、実習室面積80㎡、収蔵庫面積30㎡に、事務室、トイレ等で構成される。

■近年開催した企画展の例

- 2014年「侍がみた東アジア図 ―初公開!「大明地理之圖」―
「飯坂温泉 ―絵葉書と地図で探る戦前のすがた―」
- 2013年「仙台藩土山本家の歴史 ―知行宛行状を読み解く―
「デフォレスト館の魅力・再発見」
- 2012年「絵馬になったムカデたち ―角田市福應寺の絵馬―
「人体はいかに描かれたか
―江戸時代の明堂図と銅人形―」

■常設展示の例

- 日本最北の前期古墳「大塚森古墳」
- 中世人の信仰「松島雄島海底採集板碑」
- 庶民の願い「東北の庶民信仰資料・生活用具」



博物館外観

開館時間 月曜日～土曜日
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 日曜日、祝日・休日、大学の定める休業日

入館料 一般200円
但し、学校法人東北学院の教職員・学生・大学院生、大学同窓生は、ホームカミング・デー等の館長の定める行事日無料、未就学児、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校若しくは高等専門学校の子供、生徒又は学生、65歳以上の方、障害者基本法に定める障害者と介護者1名は無料

問合せ先 〒980-8511
宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1
電話番号:022-264-6920

来館方法 地下鉄「五橋駅」下車、愛宕上杉通りを南方向に徒歩5分

駐車場 身体障害者等用駐車場3台



- ⊗ 学校
- ⊗ 交番、警察署
- ⊙ コンビニ
- ⊕ 病院
- 銀行
- 〒 郵便局

QRコードからもHPにアクセス!



<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/facilities/museum/>

ふく かん てき
**複眼的に
かんがえる**
||
たのしい!



墨書人面墨書土器

東北学院大学博物館
Tohoku Gakuin University Museum



東北学院大学
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

博物館
MUSEUM

ご挨拶

東北学院大学博物館によろそお出でいただきました。
心から歓迎いたします。

さて、東北学院大学博物館は平成23年11月17日に開館いたしました。博物館は東北学院大学の研究成果、中でも文学部歴史学科の研究成果を社会の皆様にお伝えすることを目的としています。また、東日本大震災で太平洋沿岸にある多くの博物館が被災しました。当館は被災博物館の支援、被災文化財のレスキューも行ってきました。展示では、歴史学科考古学ゼミの発掘調査成果、民俗学ゼミのフィールド調査、歴史学ゼミの研究成果などを展示しています。お楽しみいただくとともに、東北学院大学の活動につきましてもご理解、ご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

東北学院大学博物館
館長 辻 秀人

所蔵資料紹介

「墨書人面土器」

土器の外面に人の顔が描かれた墨書人面土器は、祓(罪・穢・病氣・災厄などをはらい除く行事)の際に、息を吹きかけてそれを河に流されたものである。河川跡などで発見される墨書人面土器は、その目的で使用されたものと考えられる。当館所蔵の墨書人面土器は轆轤成形の土師器であり、形式から考えて平安時代前期のものとして推定されている。昭和30年代に行われた砂押川河川改修工事の際に出土した。



墨書人面土器展開図

「おしらさま」

岩手県を中心とした東北に広く分布するおしらさまは、蚕の神、農業の神、馬の神などとして信仰されてきた。当館所蔵資料は、家の神として保管され毎年の祭日に衣を一枚重ね足して「遊ばせ」る一般的なおしらさまとは異なりオガミサマ・イタコなどと呼ばれた民間宗教者が祭具に用いたものとなっている。一関市川崎町薄衣の大乗寺に保管されていたもので、そのなかでも1608(慶長13)年の記名の入った非常に古いおしらさまである。



おしらさま

学びの場としての博物館

✦ 博物館学芸員課程の実習

大学博物館は、週一回の3年生開講の博物館実習、および博物館実務実習における学びの場として活用されている。実習では、実物資料を扱いながら学芸員の実践的な技術鍛錬が行われている。



博物館実習での展示準備

✦ 学芸研究員制度

東北学院大学博物館では、即戦力の博物館学芸員を排出するため、文学研究科の大学院生を学芸研究員として任用している。学芸研究員は学芸員とともに、資料の収集、整理、保存、閲覧、展示および調査研究等、博物館における専門的業務に携わっている。学芸研究員経験者は、東北各県の学芸員・文化財担当者として多数活躍している。



学芸員研究員の活動